

## 2020年3月期 第2四半期決算補足資料

(2019年4月1日～2019年9月30日)

## 1. 2020.3期 第2四半期実績

(百万円)

	'20.3期2Q 実績	'19.3期2Q 実績	前年同期比		'20.3期 修正予想 (11/8発表)	進捗率
			増減	増減率		
売上高	15,555	14,256	+1,299	+9.1%	28,600	54.4%
営業利益	2,150	963	+1,186	+123.1%	1,350	159.3%
経常利益	2,471	2,475	-3	-0.2%	3,750	65.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	-10,766	1,912	-12,679	-	-11,000	-
研究開発費	3,007	3,287	-279	-8.5%	7,000	43.0%
研究開発費率	19.3%	23.1%	-3.8pt	-	24.5%	-
営業利益率	13.8%	6.8%	+7.0pt	-	4.7%	-
1株当たり四半期純利益(円)	-190.86	33.85	-224.71	-	-194.99	-
設備投資額	361	528	-167	-31.6%	2,400	15.1%
減価償却費	1,452	1,446	+5	+0.4%	1,750	83.0%
期中平均レート(US\$/円)	108.63	110.27	-1.64	-	※ 105.00	-

※第3Q以降前提

## ＜前年同期比との増減要因＞

売上高： 海外医薬品の好調により医薬品事業が伸長し、増収。

(+1,299)

営業利益： 増収に加え、研究開発費が減少したことから増益。

(+1,186)

四半期純利益： 医薬品事業における事業環境及び中長期的な業績動向等について精査し、

(-12,679) 減損損失123億4百万円を特別損失として計上したため減益。

## 2. 2020.3期 通期業績予想

(百万円)

	'20.3期 修正予想 (11/8発表)	'20.3期 期首予想 (5/10発表)	期首予想比		'19.3期 実績	前期比	
			増減	増減率		増減	増減率
売上高	28,600	28,250	+350	+1.2%	28,384	+215	+0.8%
営業利益	1,350	400	+950	+237.5%	977	+372	+38.1%
経常利益	3,750	2,300	+1,450	+63.0%	2,859	+890	+31.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	-11,000	2,000	-13,000	-	2,244	-13,244	-
研究開発費	7,000	6,800	+200	+2.9%	7,148	-148	-2.1%
研究開発費率	24.5%	24.1%	+0.4pt	-	25.2%	-0.7pt	-
営業利益率	4.7%	1.4%	+3.3pt	-	3.4%	+1.3pt	-
1株当たり当期純利益(円)	-194.99	35.46	-	-	39.76	-234.75	-
設備投資額	2,400	2,350	+50	2.1%	1,310	+1,089	+83.1%
減価償却費	1,750	2,950	-1,200	-40.7%	2,902	-1,152	-39.7%
期中平均レート(US\$/円)	※ 105.00	105.00	-	-	110.91	-	-

※第3Q以降前提

## ＜期首予想との差異＞

売上高： 米国における単回投与の関節機能改善剤ジェル・ワンの増加を見込み、期首予想を上回る見込み。

(+350)

営業利益： 研究開発費の増加を見込む一方、増収に加え減損処理に伴い減価償却費が減少することから、

(+950) 期首予想を上回る見込み。

当期純利益： 減損処理による特別損失の計上により、期首予想から大幅に下方修正。

(-13,000)

①2020.3期 第2四半期実績

(百万円)

	'20.3期2Q 実績	'19.3期2Q 実績	前年同期比		'20.3期 修正予想 (11/8発表)	進捗率
			増減	増減率		
【医薬品事業】	12,236	10,939	+1,297	+11.9%	22,050	55.5%
国内医薬品	7,260	6,974	+286	+4.1%	13,950	52.0%
海外医薬品	4,439	3,429	+1,010	+29.5%	7,050	63.0%
医薬品原体	535	535	-0	-0.0%	1,050	51.0%
【LAL事業】	3,319	3,317	+2	+0.1%	6,550	50.7%
合計	15,555	14,256	+1,299	+9.1%	28,600	54.4%
(海外売上高)	7,216	6,224	+991	+15.9%	12,550	57.5%

<主要製品の販売状況>

- ・国内アルツは、市場全体がほぼ横ばいで推移するなか、医療機関納入本数は微増。  
当社売上高は第2四半期までに出荷が集中したことから、増加。  
(前年同期比 市場+0.1%、アルツ医療機関納入本数 +0.4%)
- ・オペガン類はセルガンの順調な推移などにより、医療機関納入本数及び市場シェアが伸び、当社売上高も増加。  
(前年同期比 市場+10.4%、オペガン類医療機関納入本数 +11.5%)
- ・ヘルニコアは、医療機関納入本数が着実に増加しており、当社売上高も増加。
- ・米国向けジェル・ワンは、2019年より複数の保険会社で優先償還を獲得したことに加え、競合品からの切り替え施策が奏功したことにより、現地販売本数及び当社売上高が大幅に増加。  
(現地販売数量、前年同期比 +35.0%)
- ・米国向けスパルツFXは、米国市場において単回投与や3回投与などの少数回投与製品が選好される傾向が継続している影響を受け、現地販売本数が減少。当社売上高は、前倒しの出荷増があったことから増加。  
(現地販売数量、前年同期比 -16.3%)
- ・中国向けアルツは拡販戦略が引き続き奏功しており、現地販売本数は増加。  
当社売上高は為替の影響により減少。(現地販売数量、前年同期比 +16.3%)
- ・LAL事業は国内での販売が減少したものの、海外子会社のアソシエーツ オブ ケープ コッド インクでの販売活動強化によるエンドキシン測定用試薬及びグルカン測定体外診断用医薬品の販売増加により、前年同期並み。

②2020.3期 通期業績予想

(百万円)

	'20.3期 修正予想 (11/8発表)	'20.3期 期首予想 (5/10発表)	期首予想比		'19.3期 実績	前期比	
			増減	増減率		増減	増減率
【医薬品事業】	22,050	21,600	+450	+2.1%	21,893	+156	+0.7%
国内医薬品	13,950	14,000	-50	-0.4%	14,161	-211	-1.5%
海外医薬品	7,050	6,650	+400	+6.0%	6,511	+538	+8.3%
医薬品原体	1,050	950	+100	+10.5%	1,220	-170	-14.0%
【LAL事業】	6,550	6,650	-100	-1.5%	6,491	+58	+0.9%
合計	28,600	28,250	+350	+1.2%	28,384	+215	+0.8%
(海外売上高)	12,550	12,250	+300	+2.4%	11,966	+583	+4.9%